

チーム えがお

かぜに
注意だニャン!



発行者:校長 岡田 達也

【学校教育目標:たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



～ ㊦が お かが やき ㊦んばる 学校 ㊦う えんだん 「チーム北川」 ～

自らをふり返り、次ににいかすことの大切さ

3学期が始まり、1週間ほどがたちました。子どもたちも冬休み気分から少しずつ落ち着いてきたように感じています。3学期には、次の2つの意味合いがあります。

①その学年で習得すべきこと(知識、規範、体力、態度等)をきちんと身に付いているかなど、まとめをする。

②自らをふり返り、成長のために必要なことをきちんと把握し、次の学年にいかす準備をする。学校においても、2学期末にいただいた教育評価や子どもたちの実態をもとに、本校の教育をきちんとふり返り、次年度に向けてどう活かしていくかを全教職員で協議しているところです。子どもたちのよりよい成長のためには、欠かせないことだと考えています。子どもたちは、学校での姿と家庭での姿が異なることも多々あります。どちらも子どもの姿であり、異なって当然です。それは、学校と家庭の役割が異なるからです。簡単に言えば、学校は個々の成長に向けて集団の機能を活用して教育する場だからです。

学校や家庭、地域には、それぞれに役割があります。それぞれがその役割を責任をもって担う学校が、この1年間の合言葉としていた「地域とともにある学校」です。学校と家庭・地域との関係は、子どもを中心に据えて、三位一体の体制をつくり、子どもの成長とともに、教職員や保護者、地域住民等がともに学び合いながら人間的な成長を遂げていくものだと考えています。学校が学校としての役割を果たしていくために、保護者や地域の皆様の支援や協力を得て、豊かな教育活動を展開していくことが重要だと改めて痛感しています。



【学校の役割】

子どもたちの発達段階に応じて、体系的かつ組織的な教育を授けることを通じて、知・徳・体の調和のとれた能力の伸張を図る。

【家庭の役割】

すべての教育の出発点として、子どもが心の安らぎや温もりを感じるとともに、基本的な生活習慣や規範意識を身に付け、家族への信頼感や思いやりを育む場である。また、善悪の判断や社会的なマナーなどを養い、学校や社会での幅広い学びの基盤を築く。

【地域の役割】

日常的に行われる大人と子どもとのふれあいや、北川地区にある自然、文化、歴史、伝統等を活かした様々な体験の機会を提供することなどにより、地域の一人としての社会性、規範意識や自主性、創造性等の豊かな人間性を養う。

子どもたちや保護者・地域の皆様に、これまで以上に「行きたい」「行かせたい」「応援したい」と言っただけのように、本年度の取組をしっかりとふり返り来年度に活かしていきたいと思っています。そのためには、子どもたちのよりよい成長のために、3学期も子どもたちの人間関係づくりや基礎学力の定着に努めて参ります。